

**製品名:** リン酸化JunD (Ser73/100) ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号:** APRab00789

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	Calculated MW: 36 kDa; Observed MW: 36 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	JUN/JUND
別名	JUN; Transcription factor AP-1; Activator protein 1; AP1; Proto-oncogene c-Jun; V-jun avian sarcoma virus 17 oncogene homolog; p39; JUND; Transcription factor jun-D
遺伝子 ID	3725/3727
SwissProt ID	P05412/P17535
免疫原	抗血清は、Ser73 のリン酸化部位周辺のヒト c-Jun 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 40-89

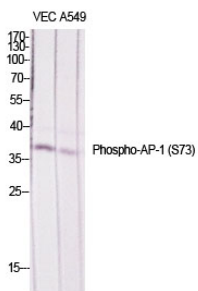
**背景**

c-jun は、エンハンサーヘプタマーモチーフ 5'-TGA[CG]TCA-3'を認識し結合する転写因子です。HIPK3 によってリン酸化されると NR5A1 の活性を促進し、cAMP シグナル伝達経路の刺激によるステロイド産生遺伝子の発現増加につながります。

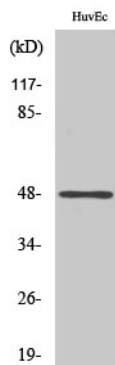
## 研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

## 画像データ



リン酸化 JunD (Ser73/100) 抗体を用いた、さまざまな溶解物中のリン酸化 JunD (Ser73/100) のウエスタンブロット分析。



Phospho-AP1/Jun D (S73/100) 抗体を使用した HuvEc 溶解物中の Phospho-JunD (Ser73/100) のウエスタンブロット分析。